

第 11 回新潟県高等学校総合文化祭 英語・国際交流部門

新潟県高校生英語ディベート大会 開催要項

- 部門主催 新潟市教育委員会
- 特別協賛 GTEC for Students 株式会社 ベネッセコーポレーション
- 期 日 令和5年10月29日(日) 9:00~16:20
- 会 場 県立新潟高等学校(新潟市中央区関屋下川原町2-635)
- 開催形態 対面方式(Zoomでのオンライン開催の可能性あり)
- 参加条件
 - 新潟県内の高等学校在学者または高等専門学校の3年まで、または中等教育学校の4年から6年に在学の生徒でHE n DAの「Make Friend 憲章」を厳守できる生徒
 - 英語のネイティブスピーカーは不可
 - 以下の海外生活経験者などの条件に該当する者はチームに2名以内：
 - (1) 英語を第1言語とする国で12ヶ月以上の滞在経験のある生徒(就学前の滞在は不問)
 - (2) 英語を第2言語とする国の出身である生徒(就学前の滞在は不問)
 - (3) 家庭で常用的に英語を使っている生徒

試合ごとの出場制限は設けず、条件該当者も各試合最大2名とも出場可とする

- チーム構成
 - 試合登録は1チームあたり6名までとする。試合への出場は3名~4名で試合ごとのメンバーの入れ替えは可能。
 - 1チームにつき帯同ジャッジ1名以上を登録する。

■ 論 題

Resolved: That the Japanese government should legalize gestational surrogacy.
日本政府は、代理出産を合法化すべきである。是か非か。

- 競技規則 全国高校英語ディベート連盟の「大会ルール」「ジャッジ基準」に基づく。
- 対戦方法 パワーペアリング方式4試合を行い、その結果に基づき決勝戦を行う。
- 表 彰 上位3チーム 最優秀ディベーター1名に賞状
※優勝チームには全国“Online”大会の出場権が与えられる。

■ 参加費 1チーム 1,000円（大会当日に納入する）

■ その他 同日,上位大会参加と関わりのない、他校とのディベート練習を目的とする「フレンドリーカップ」も行う。

- ① 各校の出場チーム数は問わない。
- ② 参加料は不要とする。
- ③ 試合にジャッジがつけられないことがある。
- ④ チェアパーソンは対戦各校で話し合い、どちらかの学校から1名を出す。
- ⑤ 申込用紙は「フレンドリーカップ用」のものを使用してください。